



MIE PREFECTURE ENVIRONMENTAL CONSERVATION AGENCY

みえか

2015
第38号

平成27年10月

発行：一般財団法人 三重県環境保全事業団

タヌキマメ



アサギマダラ



ミゾソバ



「平成27年度水道水質管理セミナー」開催のご案内

事業団では、水道水質の管理業務に携わっている皆様及びその関係者を主な対象として、水道水質管理に関する新しい情報提供を目的とした「水道水質管理セミナー」を毎年度開催し、参加者の皆様からご好評をいただいております。

今年度は、平成25年度まで厚生労働省健康局水道課水道水管理室で水道行政に携わっていました小嶋隼先生（現：埼玉県水質管理センター検査第一担当課長）をお招きし、ご講演をいただくことを予定しております。

セミナーの内容、開催日時等については、次のとおりとなっております。

詳細については環境分析課管理チームまでお気軽にお問い合わせください。

セミナーの内容：

「水道水質検査の重要性や検査結果の活用方法並びに苦情対策」

埼玉県水質管理センター 検査第一担当課長 小嶋 隼 先生

「水道水質基準等の動向と水質検査の信頼性確保の方法」

一般財団法人 三重県環境保全事業団 環境分析課 古川 浩司

開催日時：平成27年 11月 27日（金）13：00～16：40

開催場所：三重県環境保全事業団 河芸社屋 2階大会議室

定 員：60名

参 加 費：無料

対 象 者：水道水質の管理業務に携わっている皆様及びその関係者





親子で標本づくり！



事業団では、「三重の豊かな自然を後世に伝える」をコンセプトとして、地域の研究者や自治体と協働し、次世代を担う子供たちに自然環境保全意識の啓発活動を実施しています。



本年度もその一環として、親子動植物同定会及び標本づくりの実習を開催しました。

8月2日に志摩市（阿児アリーナ）で開催した「生きものの名前を調べてみよう～『標本』を作ってみませんか～」には、20組40名ほどの親子に、8月8日に松阪市（MAPみえこどもの城）で開催した「ぼくら生き物調査隊～探って、調べて、形にしよう～」には、25組50名ほどの親子に参加していただきました。



子どもたちは、飼っていたカブトムシやクワガタ、この日のために採集したチョウ、トンボ、植物、貝などを持ち寄り、専門家から説明を受けながら標本づくりに取り組みました。展肢・展翅（虫の肢や翅をのばして整えること）に悪戦苦闘する子どももいましたが、付き添いで参

加された保護者の方ともども、出来上がった標本にとても満足しておられました。これをきっかけに生き物にさらに興味を持っていただけたら幸いです。

また、7月19日には、菰野町（竹成コミュニティセンター）で行われたイオン鈴鹿チアーズクラブの「大豆作り」イベントに、講師1名を派遣しました。醤油や豆腐といった大豆から作られる食品の説明に始まり、大豆を例にした植物の生態・生理、生態系における植物の役割などを、わかりやすく説明しました。小さな子どもには少し難しい部分もあったかもしれませんが、これから1年かけて大豆の収穫や食品づくりを自分たちの手で行っていくとのことで、今回の講演が食や自然への理解の一助になればと願っています。





「みえ環境フェア2015」開催のご案内！

三重県地球温暖化防止活動推進センターでは、今年も12月に『みえ環境フェア2015』を開催します。

本年度も県民をはじめ、環境団体、県内市町・企業団体、学校等が取り組む地球温暖化防止活動や環境保全活動を紹介し、来場者の皆様方には地球温暖化防止につながる知識を学んでいただくとともに、地球温暖化防止活動につながる機会としていただきたいと思います。

多くの方のご来場をお待ちしています。



昨年（2014年）の環境フェア風景

日時：平成27年 **12月6日**（日）10時～15時

場所：メッセウイング・みえ（津市北河路町19-1）

主催：三重県地球温暖化防止活動推進センター（一般財団法人 三重県環境保全事業団内）

共催：三重県

後援：環境省中部地方環境事務所（予定）・経済産業省中部経済産業局（予定）

- ◆ ステージイベント みえ環境大賞表彰式及び受賞団体活動紹介等
環境トーク（前三重大学学長 内田淳正 × 三重県地球温暖化防止活動推進センター長 朴 恵淑）
- ◆ 展示コーナー 県民・企業・NPO・学校・行政等のブース
取組内容のポスター・成果品等の展示・エコカー等の展示
- ◆ 工作コーナー 牛乳パックや自然の材料（貝殻、木の枝、木の実等）を利用した工作等
- ◆ 温暖化防止に関する相談コーナー

お問い合わせ先 三重県地球温暖化防止活動推進センター

tel 059-245-7517 fax 059-245-7518 ホームページ <http://www.mec.or.jp/ondan/>



アキノカ

葛山博次 著
「万葉集の植物」より

かつて、県内のアカマツ林の多くはマツタケ山として有名で人びとに親しまれてきましたが、近年、山は放置されて、めっきり少なく、貴重なキノコとなりました。日光、東北、北海道ではツガ林にも生えます。

「高松のこの峰も狭いほどに笠を立てて、いっぱい、盛んに生えている松茸の香りのよいことよ」と、秋の松茸山の姿が上品にまとめられた歌です。このことによって、万葉の時代から食膳に供されていたことがわかります。

高松のこの峰も狭いほどに笠を立てて
盛り盛（み）りたる秋の香のよき

（巻十の二二三三）

万葉人の
愛した草木

その三十七





地元自治会行事に参加しました！

廃棄物管理部では、地域住民の皆様へに信頼いただける「新小山最終処分場」をめざして、積極的に地元自治会行事に参加しています。

5月9日（土）には、新小山最終処分場内に設置した「いこいの広場」と「せせらぎ緑地」を小山町の皆様に開放し、同日開催された小山町自治会行事に参加しました。この行事では、事業団が環境復元の一つとして取り組んでいるゲンジボタル再生施設である「ホタル飼育管理小屋」と「せせらぎ水路」の見学会を行いました。参加した子供たちは、職員からのゲンジボタルの飼育水槽やせせらぎ水路でのホタル飼育の説

5月9日の
公園開放行事



7月19日の
町内美化清掃行事



明に興味深く聞き入っていました。

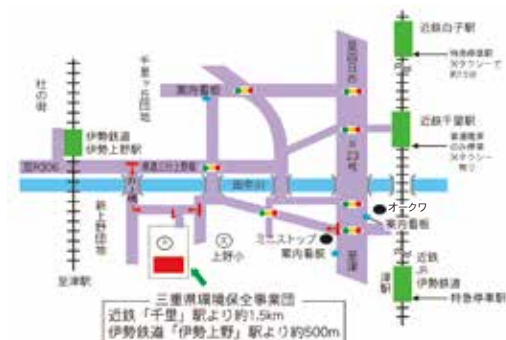
また、7月19日（日）には、毎年恒例の小山町自治会による町内美化清掃行事に参加しました。朝から蒸し暑い中、地元の皆様とともに事業団の職員14名、協力会社の9名を含めた総勢約100名が、小山町内の道路沿いと足見川付近のごみ拾いを行いました。小山町周辺は茶畑や水田が広がる緑豊かな地区で、景観を守るために我々も少しはお役に立てたと思っています。

今後もこのような地元行事に積極的に参加することにより、地域住民とのコミュニケーションを図り、信頼関係の向上に努めてまいります。

お問い合わせ先 廃棄物管理部 施設課 tel 059-328-2727 fax 059-328-8652

■河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野 3258 番地
tel 059-245-7505（代表） fax 059-245-7515
フリーアクセス 0120-0592-03
ホームページ <http://www.mec.or.jp>



■小山事務所

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
管理課 tel 059-328-2567 fax 059-328-2967
施設課 tel 059-328-2727 fax 059-328-8652

■新小山最終処分場（埋立処分事業）

〒512-1102 四日市市小山町字西北野 3234-1
tel 059-328-2727 fax 059-328-8652

■小山リサイクルセンター（破碎処理）

〒512-1102 四日市市小山町字大犬谷 3258
tel 059-328-2567 fax 059-328-2967

●事業団へのご意見・ご希望または「みえか」のご感想をお寄せ下さい。e-mail : mec@mec.or.jp